

パブリックコメントにおいて多く提出された意見について

※パブリックコメントは、必ずしも賛否を明らかにして意見提出するものではなく、単純な賛成・反対の集計は困難であるため、主な意見ごとに分類の上、件数を記載した。

(1) 条例の趣旨への賛同 (47件)

- ・在住外国人が増える中、今まさに必要とされている条例である。
- ・誰もが活躍できる社会に向けて、早急に実現を望む。

(2) 条例制定後の施策への期待 (42件)

- ・県が率先して、女性や障がい者や性的マイノリティの方が活躍できる場を提供していただくよう強く望む。
- ・性別を問わず、法律婚を選ばなかったカップルの権利を守るパートナーシップを千葉県全体で認めていただく流れになることを期待している。
- ・男女が平等に参画できるよう予算を確保し、力を尽くしてほしい。

(3) 条例制定に対する懸念 (外国人関係) (81件)

- ・外国籍の人による様々な問題が起きており、課題解決が先ではないか。
- ・文化や習慣・教育や宗教の違う方も含めて社会の中で一定のモラルやルール作りに重点をおいた制度の方が必要だと思う。

(4) 条例制定に対する懸念 (LGBT 関係) (175件)

- ・女性を自称する男性が、女子トイレや更衣室などを使用する可能性が高まり不安である。
- ・性自認を主張するだけでそれが尊重される事には反対。一般的な県民や女性や子供の安全な暮らしが損なわれ性犯罪等の可能性が増加してくると思われ不安。

(5) 「性自認」の文言を修正・削除すべきとの意見 (42件)

- ・「性自認」の表現は、政府と同じ「ジェンダーアイデンティティ」という表現に変えてほしい。

(6) 条例化する必要性がないとの意見 (112件)

- ・日本はもともと多様性に富んだ国柄なので、わざわざ条例を作る必要はない。
- ・様々な違いがある人がいるのも事実だが、わざわざ条例案にする必要はない。

(7) 時期尚早・議論不足との意見 (58件)

- ・条例を作るならば、多くの人に意見を聞き作るべきだと思う。
- ・短時間で拙速に決めようとするのは間違った姿勢だ。関係者の話をよく聞いて、具体的で有効な手立てを打ち出すべきである。

(8) 社会の活力向上や活躍よりも、その人らしく生きられることや生きづらさの解消を重視すべきとの意見 (155件)

- ・社会の活力と創造性の向上のためではなく、平等でその人らしく生きられる社会を作るべき。「社会に参加させてやるから活躍しろよ」という圧を感じる。
- ・活躍できれば良いのではなく、安心して自分らしく生きられるような社会にするために何が必要か定めるべきである。

(9) 差別禁止や罰則規定を設けるべきとの意見 (44件)

- ・条例を実効性のあるものにするためには、理念だけでなく、差別の禁止と罰則を明記するべきである。
- ・多様性の尊重は、差別の禁止と対になって可能となる。

(10) 男女共同参画条例に関する意見 (56件)

- ・男女共同参画条例に代わるものとしては認めることができない。
- ・多様性の基盤として、まず男女共同参画に関する条例を策定していただきたい。

(11) その他 (467件)

- ・東京 2020 県内開催、成田空港の機能強化、道路ネットワークの整備進展は、多様性尊重と関係ないのではないか。
 - ・「男女のいずれもが」の表現を多様な性も含むような表現にした方がよい。
 - ・抽象的な文言が多く具体的にどうするのかという提案がない。
- ほか